

## 町産材を使用した道の駅「にちなん日野川の郷」 建設の話題

日南町では、主要地方道新見日南線沿い(生山地区)に道の駅「にちなん日野川の郷」を建設中です。2016年4月オープン予定となっています。日野郡内では江府町の道の駅 奥大山に続き2番目、県内で15番目、中国地方では100番目の施設となります。

2015年1月30日には地域活性化の拠点としての先駆的な取り組みを国土交通省が重点的に支援する「重点道の駅」(全国35か所)にも選定されています。

日南町では、道の駅を町民の交流の場として位置づけを行っています。特産品の集出荷や加工販売を集約して6次産業化を推進し、福祉・商業の拠点とすることを目指しています。敷地面積1万6901平方メートル、平屋4棟の建物で構成します。駐車場は83台分と広々とした作りです。

レストランと直売所・トマト加工場・県管理のトイレや情報発信施設ではFSC認証材である、町産の杉やヒノキを使った木造となっています。梁や柱など、木造の主要部分には町内のLVL工場(株)オロチの製品が使用されています。(多目的ホールは鉄筋コンクリート造りとなります。)



道の駅のオープン後は大型木造施設の建築例として、また、FSC認証など日南町の環境貢献のシンボルとして、森林の町日南町を情報発信していく施設になる事が期待されます。

### ※FSC 認証材について

FSC(Forest Stewardship Council:森林管理協議会)は、改善のすすまない世界の森林問題に対応するためにつくられた非営利の国際組織です。「FSC 森林認証制度」は、違法伐採や保護する価値の高い森林の伐採を防ぐ手立てを持ち、「森を適切に管理している」団体に独自のロゴマークを付与するしくみです。

FSC ロゴマークのついた製品が世の中に広く流通し、消費者に積極的に選ばれるようになれば、適切な管理をしている森林が増えることにつながります。(日南町森林組合 HP FSC 認証材項目より抜粋)

現在、公共工事などではグリーン購入法に基づき、FSC など森林認証材の使用が定められ、または努力義務とされています。(NPO 注)